

# 放課後等デイサービス評価 公表

NPO法人レスパイトケアはちもり 児童クラブあさひ

指定:平成27年7月 定員:10名

評価実施期間: R2.11.3~R2.12.22

実施方法: 職員による自己評価を実施したものを職員会議にて集約

集約者: 児童発達支援管理責任者 徳原 聡

## I. 自己評価

		項目	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	比較的広い環境があり個室も完備しています。(大人には個室が狭いように感じますが子どもにとって落ち着けるようです。) 利用定員は、子どもたち同士の関係や特性にあった曜日に合わせながら設定しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	子どもの特性や支援内容により職員の配置数が手薄と感じる事があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	手すりやスロープを完備しています。段差もほとんどなくトイレも広く比較的使いやすくなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参加しているか	ひとりひとり意見を出し合い、改善点等情報共有しながらより良い支援につながるよう努めています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	保護者の方の意見をしっかり受け止め業務改善に活かしていきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	法人のホームページで公表することになっています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	保護者の方に評価をいただいておりますが、他の外部評価を受けたことはまだありません。

	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的に内部研修を行ったり、日々の支援で問題になったことなどの話し合いをおこなっている。県や国が実施する研修等にも積極的に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメントの重要性をしっかりと認識した上で更なるニーズは何かを利用時に保護者の方と話しながら考え作成し、個別に対応している。
	10	子どもの適応行動の状況を測るために。標準化されたアセスメントツールを使用しているか	支援会議などにより家庭、他事業所と共通のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	子どもたちに合った様々な活動プログラムを1週間ごとに担当を変えて行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	季節ごとの行事や最近の子どもたちの様子に合わせ活動プログラムを設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を含め細やかに設定して支援しているか	長期休暇の時間の使い方など工夫し、子どもたちの課題を明確にして支援に努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもの特性に合うような集団活動と個別活動を盛り込み個別支援計画を作成できるよう努めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に集まり打ち合わせする事は業務上難しいので、事前に空いている時間等で支援内容の確認や保護者からの申し送りを全員に共有するようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	業務終了後の打ち合わせは送迎に出ている職員も多いため出来ていませんが、業務日誌や個別記録などの振り返りを共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日々の支援の中での子どもたちの様子、変化などの記録を必ずとっています。今後の支援の向上につながるよう情報共有の徹底に努めています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヶ月に一度はモニタリングを行うようにしています。子どもの様子や状況に応じて見直し等を行うよう努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、合わせて支援を行っているか	基本活動のうち、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を組み合わせ、合わせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	基本的には、児童発達管理責任者が参加しています。必要に応じて、他の支援員が参加することもあります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	養護学校主催の全体会議、定期的な支援会議への参加をしています。担任教師とその日の子どもの様子や細かい詳細などの情報共有も行っていきます。必要に応じて学校見学もさせていただき支援に活かしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要なお子さんの受け入れは現在までにありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用開始前の情報共有する機会があれば積極的に参加するように努めています。
	24	放課後等デイサービスから福祉サービスに移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	移行支援会議に参加し、必要な情報の共有に努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	自立支援協議会の主催する研修等に職員が参加する環境を整えています。必要に応じて連絡をとり、ご相談させていただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との連携や、障害のない子どもと活動する機会があるか	同じ法人ですが児童クラブすがのとの交流は定期的にするようにしています。
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	法人として参加しています。

	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時や受け渡しの際に子どもの様子や課題について話し合う機会やノートでの情報共有をしていますが、子どもの特性やご家庭の事情によってまだ偏りがあるので平等に共通理解ができるよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	保護者の方からの相談などに随時対応できるよう努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に児童発達支援管理責任者が重要事項、契約書の確認などの説明を保護者に対して行っています。見学に来られた際にも必要に応じた説明を丁寧に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方のお気持ちに寄り添えるよう随時相談を受け付けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	事業所としては保護者会という組織は結成されていませんが、年に数回交流する機会を開き保護者同士の連携を深めています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情対応マニュアルが作成してあります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的に普段の活動の様子などをお便りとして発行し、各ご家庭に発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	利用開始時に個人情報に関する同意書をいただいています。職員も守秘義務に関する誓約し、徹底に努めています。
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1人ひとりの障がい特性にあった方法を取り入れるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所としてはないですが、法人としては毎年9月に行われる施設のお祭りにも備え、地域住民にチラシ配布等行い参加を呼び掛けています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	感染流行期にマニュアルの一部を抜粋したものを保護者に通知しています。職員全員参加で感染症対応に関する内部研修を行うなど徹底に努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に危険、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回、防火管理者が企画し、消防署に届け出・立ち合いのもと、避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	毎年、県が企画する虐待防止・権利擁護の研修に参加し、法人内部で職員全員参加の伝達研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在、身体拘束が必要なケースや身体拘束の要否の検討に至ったケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーに関して医師の指示書が出ている子どもはいません。保護者と必要な情報を確認し合いながらアレルギー対応に努めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集・事故報告書は作成し事業所全体で情報共有できるようにし、改善に努めています。

<b>II. 保護者等へのアンケート</b>						評価実施期間： R2.11.3～R2.12.22 実施方法： 配布→手渡し、送付配布 回収→無記名事業所宛て 回収数／配布数： xx / 14	
	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見		
環境・体制整	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	93.0%	7.0%			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	79.0%	21.0%			

準備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	79.0%	21.0%		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	93.0%	7.0%		分かりやすく、丁寧に計画を立案して下さっており、よく本人を見ていてくれていると感じます。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	86.0%	14.0%		色々な季節に合わせた行事など様々なプログラムを工夫して下さっていてありがたいです。 利用日が少ないのでわかりません。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14.0%	72.0%	14.0%	
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93.0%		7.0%	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	86.0%	14.0%		毎回ノートで子どもの様子を丁寧に書いて下さりわかりやすいです。 ノートだけでなく送迎の時にも本人の様子を細かく教えて下さり、親の知らない一面をすることが多々あります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	64.0%	29.0%	7.0%	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43.0%	36.0%	21.0%	コロナが終息したら他の利用児の保護者の方とも話が出来たらいいなと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	57.0%	43.0%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	86.0%	14.0%		

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	93.0%	7.0%		行事や普段の様子を会報で見るのが家族の楽しみになっていてありがたいです
	14	個人情報に十分注意しているか	86.0%	14.0%		
非常時の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	72.0%	21.0%	7.0%	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57.0%	43.0%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	93.0%	7.0%		遊びなどみんなとやれることが楽しみだと思う。 毎回良い表情で帰宅する様子や長期休みの時も毎回嬉しそうに通う様子を見ていると本当に大好きな場所なんだと感じます。 様々な活動を盛り込んでいただけて子どももあさひへ行くことが楽しそうです。
	18	事業所の支援に満足しているか	93.0%	7.0%		色々体験することが出来るので「今日～したよ」「楽しかったよ」等会話に上がるようになってきている。 とても丁寧に関わって下さり、本人の表情、様子を聞く限りのびのびと過ごせていて大満足です。

### Ⅲ. 総評

今年も自己評価ならびに保護者等へのアンケートを実施させていただきました。今年度は新型コロナの影響で例年とは生活環境が異なり長い休校で生活のリズムが崩れて預かりの中で不穏になる子もいました。事業所ではそんな子たちのために職員間で話し合いながら個別に対応、支援が出来たと思います。逆に時間がたくさん取れたことで新しい支援を試したり、今まで出来なかった活動を行ったことにより、子どもたちの新たな一面が見れたことはプラスになりました。そういうこともあり自己評価では自分たちの事業運営や支援の振り返りが改めてでき、新たな課題や改善点が見えてきました。保護者等へのアンケートでは保護者の皆さまの意見をいただくことができました。特に「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」「子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか」の問いに高い評価を頂いたことは今後の励みになります。少し残念だったことは例年行っている保護者同士の交流などの場が開かれなかったです。交流会の中で出た意見は保護者の方のアンケートなどの文章より率直な気持ちが聞けて、いつも大変参考になっていました。それでも問8の質問で毎回ノートで子どもの様子を丁寧に書いて下さりわかりやすく、ノートだけでなく送迎の時にも本人の様子を細かく教えて下さり、親の知らない一面をすることが多々ありますなど答えがあったことは交流会が出来ない分、日々の連絡や送迎時の僅かな保護者とのコミュニケーションを大事にした結果だと思えます。皆様の意見を参考に今後も更なる開かれた事業所作り、透明化に努め、自己評価ならびに保護者等のアンケート結果をよりよい支援につなげていきたいと思えます。

今回アンケートにご協力いただいた保護者の皆さまに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。















